

- 練習で行った内容を意識しながら試す試合となった。ディフェンスから速攻を出せるように行った。今回スターティング5である志野選手が怪我のため不出場であった。そのため全員がステップアップする必要があった。いつもよりサイズダウンするため、リバウンドで苦戦する場面が多かった。特にボックスアウトを徹底することで、サイズで劣った状況でもディフェンスリバウンドを獲得し、速攻へ繋げることが大事だと感じた。
- 試合中、我々のチームはオフェンスから始まるのか、ディフェンスから始まるのかを確認し、4Qでディフェンスの強度を上げた。立て続けに速攻を出すことに成功し、良いリズムの時間帯もあったが、強度を維持し続けられず惜敗だった。

試合の様子



3. 総括

今回の強化合宿ミーティングで坂本HCからチームのコンセプトについて再度細かな説明があった。選手が何をどう頑張らなければいけないのかが明確になりました。

新キャプテン若松選手のリーダーシップが発揮され、自主練習の時にもビッグマンや相手チームからのアドバイスを素直に受け入れ、向上心を持って練習に励む姿がありました。

試合ではオフェンスのフォーメーションのサインを使用しながら、チームプレーを発揮できたこともよかったですと思います。しかし、どの選手が出場している時にも同様のクオリティを維持できているとはいえず、戦術理解力に乏しい選手はチームプレー時に違う動きをしてしまう場面もありました。1度伝えた内容が実践できていない場合は、コミュニケーションを徹底することの大切さを再認識しました。

また前回の合宿同様、コーチからの指示だけでなく、試合終了後にボトムアップで選手主体の修正練習を実施していたことも特筆すべき点でした。

味の素ナショナルトレーニングセンターの皆様、薬師寺様、中島様、前田様、木幡様、瓜野様、菊池様、2日間ご協力いただき、誠にありがとうございました。